

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハーティワン桃園		
○保護者評価実施期間	2025年 2月13日		～ 2025年 2月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2025年 2月 13日		～ 2025年 2月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	近くに思い切り運動が可能な大きな公園がある。(猪名川運動公園)	近くに思い切り運動が可能な大きな公園や散歩コースがあるため児童の気持の切り替え等が出来る。身体を動かすプログラムを実施している。	車道があるため危険がないか事前に散歩コースは決めているが、固定化にならないように他の散歩コースも設定していく。
2	室内でも広いスペースが確保できている。	屋外活動が天候等で出来ない時には室内活動で色々なプログラムを実施している。	児童が楽しみながら学び経験できるプログラムを今後も検討していく。
3	様々な学年の児童が在籍しており、関係性を持つことができる。 (異年齢集団活動)	発達段階が異なる児童が集まるため、それぞれが楽しめる活動を工夫している。	年齢が異なるため、年齢に応じた安全性の確保。職員に対しての研修を今後も継続、実施していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	こども園や保育所、幼稚園との交流が出来ていない。	利用開始時に並行利用している施設等への連絡はしているが、そこから連携につながるケースは少ない。	必要に応じて、交流が出来る体制づくりを考えていきたい。
2	緊急時(災害発生時)に備え、定期的な避難訓練をしているが、実際の事態が起こった際にスムーズに行動、対応できるよう、今後も訓練を行っていく事が必要だと考える。	災害時(水害時)の場合、当施設の場所が氾濫時の危険区域内である。	災害に備え、継続して避難準備をしておく。(災害備蓄品の定期的なチェック等)また定期的な避難訓練等の実施を今後も行っていく。
3	保護者会、保護者同士で交流する機会を設ける取り組みが出来ていない。	現在在籍している児童が少ない為。	今後、保護者の意見、意向を確認して検討していく。